



会報

やま ぶら

サビエル記念聖堂



親睦会（於：山口市阿東、船方）



CONTENTS



No.115-2014

1

新年あいさつ

山口地方法務局	局長	多田 衛	1
山口県土地家屋調査士会	会長	西本 聡士	2
山口県土地家屋調査士政治連盟	会長	三好 一敏	3

山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会	代表理事	渡邊 英雅	4
--------------------	------	-------	---

第1回本部研修会報告	業務部理事	熊谷 剛全	5
------------	-------	-------	---

第2回本部研修会報告	境界問題相談センターやまぐち副センター長	大田 浩治	7
------------	----------------------	-------	---

支部研修会報告	宇部支部理事	松村 幸雄	8
	下関支部企画委員	百合野 崇	9

全国一斉！法務局休日相談所

岩国会場	岩国支部	沖廣 哲裕	10
周南会場	周南支部長	林 弘	10
山口会場	山口支部	大田謙一郎	11
長門会場	萩支部長	伊藤 正典	11
宇部会場	宇部支部副支部長	大窪 圭子	12
下関会場	下関支部理事	山崎 義文	13

「全国一斉！法務局休日相談所」	相談件数・相談者数一覧	14
-----------------	-------------	----

山口法律関連士業ネットワーク

「第15回一斉共同相談会」開催報告	広報部長	豊川 奎植	15
-------------------	------	-------	----

中国ブロック協議会担当者会同の報告	広報部長	豊川 奎植	17
-------------------	------	-------	----

各部紹介			18
------	--	--	----

親睦会 開催報告	山口支部長	本間 正幸	20
----------	-------	-------	----

青調会の活動

全国青年土地家屋調査士会議 in 大阪	山口青調会 副会長	宮崎 敏幸	21
---------------------	-----------	-------	----

「第3回青調会対抗ソフトボール大会」参加報告	山口青調会 会員	古江 直樹	23
------------------------	----------	-------	----

山口青調会 勉強会、ボウリング大会、忘年会の報告			25
--------------------------	--	--	----

親睦クラブの活動

「小倉競馬場リレーマラソン・下関海峡マラソン」に参加しました！	ランニング同好会	三崎 友紀	26
---------------------------------	----------	-------	----

会員の作るページ

調査士の仕事を知ってもらう 「町おこしレース」のアイデア	岩国支部	洪瀬 清治	27
------------------------------	------	-------	----

昔の折込みチラシ	萩支部	廣石 勝	28
----------	-----	------	----

事務局だより			29
--------	--	--	----

広報部からのお知らせ			32
------------	--	--	----

新年の御挨拶



山口地方法務局 局長 多田 衛

新年あけましておめでとうございます。山口県土地家屋調査士会会員の皆様には、御家族共々明るい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、会員の皆様には、平素から法務行政に対する深い御理解と登記制度の充実・発展のために、格別の御尽力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、長らく低迷を続けてきた日本経済にもようやく明るい兆しが見えるようになり、内閣府の月例経済報告の基調判断でも「景気は、緩やかに回復しつつある。」という表現を目にするようになりました。政府は、昨年8月に閣議了解した中期財政計画の中で、経済再生が財政健全化を促し、財政健全化の進展が経済再生の一段の進展に寄与するという好循環を目指し、持続的成長と財政健全化の双方の実現に取り組むとしており、今後講じられる新たな経済対策等により、好循環が生まれることが期待されます。

登記申請事件数にも、景気回復の影響と思われる変化が見られます。当局の近年の登記申請事件数を見ますと、ここ10年来減少を続けていた登記申請事件数は、平成24年度になってようやく前年度の件数を上回り、平成25年度も前年度を上回る件数で推移しています。また、国土交通省が発表した昨年9月の新規住宅着工戸数は、前年同月比19.4%増の88,539戸で、13か月連続で前年実績を上回り、戸数、伸び率ともリーマンショックがあった平成20年以来の高い水準となったとのことでありますので、来年度以降の登記申請事件数の推移にも期待しているところです。

各種申請のオンライン利用の拡大につきましては、政府の方針にのっとり、全国の法務局を挙げて強力に取り組を進めているところですが、会員の皆様の御理解・御協力により、当局の登記申請事件のオンライン利用率は、

平成22年度に約3割であったものが、平成23年度には約4割、平成24年度には約5割と毎年1割ずつ上昇し、平成25年度におきましても前年度を上回る見込みです。このオンライン利用率は、全国の法務局の中でも際立って高い利用率となっております。また、登記情報の公開に関するオンライン利用につきましては、平成22年度に登記情報提供サービスの利用件数が登記事項証明書等の発行・閲覧件数を逆転し、現在は、登記情報提供サービスの利用件数が約6割、登記事項証明書等の発行・閲覧件数が約4割（なお、この4割のうちの約2割がオンライン請求件数です。）となっております。各種申請のオンライン利用の拡大に係る会員の皆様のこれまでの御協力に改めて御礼を申し上げますとともに、引き続き、御協力をいただきますようお願いいたします。

また、法務局の最重要課題の一つである登記所備付地図作成作業につきましては、会員の皆様に全面的な御協力をいただいているところであり、昨年は、下関市綾羅木地区の約0.34平方キロメートルについて無事実施することができました。本年は、周南市徳山地区の約0.29平方キロメートルについて実施することとしておりますので、この作業につきましても、会員の皆様の御協力をいただきますようお願いいたします。

結びに、新たな年を迎え、山口地方法務局は、国民の皆様の信頼と期待に応え得る質の高い行政サービスの提供を目指して、職員一同、全力で取り組んでいく所存でありますので、本年もなお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、山口県土地家屋調査士会のますますの御発展と、会員及び御家族の皆様の御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新年ご挨拶

山口県土地家屋調査士会 会長 **西本聡士**



新年あけましておめでとうございます。本年も我々山口県土地家屋調査士会会員に取りましてより良い一年になりますことを祈念しご挨拶を申し上げます。

私の新年は例年のごとく千坊山という地元の山への初日の出を拝みに行くことから始まりました。今年は少し曇っていて危なかったのですが、周囲が明るくなってしばらくしてくっきりご来光を見ることができました。今年は午年、飛躍の年です。「人間万事塞翁が馬」ということわざが、これほど当てはまる年はないとするコラムを読みましたが、アベノミクスに後押しされて、「今年も頑張る」と東の空に手を合わせました。

さて平成25年度も後半、私が年度初頭に掲げた事業方針を総括する時期が近づいています。一つ目に挙げた「これからの山口会を引張てくれる新しいリーダーの育成」については確実に人材が育っています。副会長さん方にしても、常任理事さん方にしても、理事さん方にしても、どなたを責任者にしてどんな事業を展開しても大丈夫と考えます。二つ目に挙げた「土地家屋調査士業務の新しい展開」についても、最近連合会は国土調査法19条5項に視点を合わせていますが、我々は山口会にしかできない山林地図検討委員会を組織し新しい業務の展開を始めました。これには膨大な時間・費用が必要な作業ですが、山口県で活動する我々にとっては不可欠な事業と考え、法務局を中心とする関係官庁にも働きか

け、積極的に取り組む所存です。三つ目は「会の財政を健全化し、より良い形であとに続く人たちに引き継ぐこと」です。おかげで互助会が解散でき、来年度から清算金の還付も始まります。会館敷地所有者であるJR西日本との敷地賃料引き下げ交渉も2回目の調停期日が終了し2月後半には3回目の調停期日が設定されています。経過報告につきましては、後日折りあるごとに会員の方々に、より良い結果の情報提供をしたいと考えています。

平成26年2月に入りますといよいよ第9回の特別研修が始まります。先般の本部研修会で小野研究所所長が力説されていましたが、この研修を終了することで認定される「認定調査士」の活用がこれまでのADRセンターを中心とするものから変化をしてきている事実を見逃してはいけないと思います。近い将来紛争のある・ないを問わず、筆界・境界確認の手続き業務の受任は特別研修の終了を必要とする事態が起こると予想されます。まだ受講されていない会員は是非この事を念頭に置いて受講をお願いします。

また、今年の中国ブロック協議会主催の新人研修会の引受は山口会です。周南支部の皆様を中心にご協力をよろしくお願いいたします。

最後に山口会会員の皆様の絶大なるご支援とご協力を毎年のごとくお願いして年頭の挨拶といたします。

新年のご挨拶

山口県土地家屋調査士政治連盟 会長 **三好一敏**



新年明けましておめでとうございます。

昨年7月28日の山口島根豪雨は山口県北部を襲った集中豪雨として、山口県内にあっては観測史上最大の1時間あたり143mm、短時間あたりの雨量としては異常な、まさに記録的な量の雨が、萩市須佐、田万川地域と山口市阿東地域に降りました。このとき気象庁は緊急情報として、「これまでに経験したことのない大雨」と言う表現で、「ただちに命を守る行動を取ってください」と異例の呼びかけを行いました。被災をされた方々や会員の方には心からお見舞いを申し上げます。我々の仲間も何人もボランティアとして災害復旧に駆けつけ真夏の暑い最中、汗だくになりながら復旧活動のお手伝いをしたことを耳にしております。災害地域に住む一会員として、ご心配をおかけしたこと、災害復旧に力を貸して頂いたことに関し、心からお礼を申し上げます。

昨年10月17日自由民主党山口県連政策聴聞会が開かれ、土木建築部会に県下10団体が呼ばれました。我が土地家屋調査士政治連盟は次の2点について要望を行いました。

1、山口県土地家屋調査士会と公益社団法人山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会が行っている「山林地域における地図整備事業」について、行政とともに事業を実施したいと考えます。

2、災害復旧に関する土地家屋調査士の活用についてお願いいたします。

これらの要望に対して後日回答がなされることになっております。

平成26年、年明けに発表された種々の数値の中で、近年にない傾向として、アベノミクス効果が表れはじめ、株価が1年の間に前年比1.6倍になり、内閣支持率が1年間50～60%を維持したことが上げられています。早期にデフレが止み、私たちの業種にも恩恵が回ってくる事を期待したいものです。そして今年が会員の皆さんにとって良き年となりますよう、心からお祈りいたします。

新年挨拶



公益社団法人 山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 代表理事 **渡邊英雅**

新年あけましておめでとうございます。昨年8月に前理事長下野の後を引き継いで当協会の代表理事に就任いたしました渡邊英雅でございます。この場をお借りして、新年の挨拶をさせていただきます。

昨年は、東京オリンピックの2020年誘致決定、東日本大震災の被災地である東北をフランチャイズとする東北楽天ゴールデンイーグルスによる球団創設9年目での日本一など、明るい話題があった一方、伊豆大島の台風被害をはじめとする全国的な自然災害、私達の身近なところでは山口・島根豪雨災害が発生し、甚大な損害を生みました。近年の異常気象が原因とされるこれらの災害は、いつ、どこで発生してもおかしくない状況となっています。今もなお、仮設住宅などでの生活を余儀なくされている被災者の方々へ、この場をお借りして御見舞申し上げます。

当協会は、昨年5月、下松市と災害協定を締結致しました。この協定では、当協会が下松市からの要請に応じて、亡失した筆界点の復元や登記の無料相談所の開設などを行うとしています。また、山口・島根豪雨災害の被災地である山口市、萩市、阿武町の3市町へ出向き、被災者支援にお役立ていただきたいとの思いで義援金を贈呈致しました。当協会は、このような災害に対しまして、微力ながら県民の皆様のお力添えになればと考えており、県内市町の担当者の皆様のご理解をいただき、災害協定の締結を県全域に広げてい

きたいと考えておりますので、貴会並びに会員の皆様のご理解とご指導、ご支援をよろしく賜りたいと存じます。

また、昨年は、貴会と共同して設立した「山林地図検討準備委員会」が一定の成果を上げたことから報告書が提出され、現在は「山林地図検討委員会」と名称を変更し、活動を継続しております。山林地番に公図が備え付けられていないという、山口県特有の事情に対して、当協会と貴会が協力して調査方法等を検討することにより、会員並びに社員に対して一定の道筋を付けることができるのではないかと考えております。この件に限らず、当協会と貴会とが密な連携をはかることにより、土地家屋調査士業界の発展に寄与していく所存です。

他方、協会は、地図作成事業を公益目的事業の1つとしており、不動産登記法第14条第1項地図作成作業に関しましては、周南市での業務を一般競争入札で受注いたしました。また、下関市では2年目の業務を遂行しております。今後も、地図作成事業への積極的な関与をしていく所存です。

最後になりましたが、山口県土地家屋調査士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

本部研修会報告

第1回本部研修会報告

業務部理事 熊谷剛全

日 時 平成25年11月22日（金）
13時30分～17時

会 場 山口県労働者福祉文化中央会館
4F大会議室

内 容 「新たな土地家屋調査士制度と将来像」

講 師 日本土地家屋調査士会連合会
研究所長 小野伸秋 氏

出席者 会員65名 補助者1名

平成25年11月22日に、日本土地家屋調査士会連合会の小野先生をお迎えして「山口県土地家屋調査士会第1回本部研修会」が開催されました。

小野先生の講義に先立ち、昨年度山口会に立ち上がった「山林地番検討委員会」より、成果の中間発表が行なわれました。

「山口県には何故山林に地図が存在しないのか？」という経緯が山崎耕右先生より説明され、その後実際の事例をもとにして同システムを使って山林地番の位置の特定をするシミュレーションを見せて貰いました。

専門的なソフトを使い、とても分かり易いものとなっていたのに感心しました。

今後も更なる成果を期待したいと思いました。

引き続き小野先生から、「新たな土地家屋調査士制度と将来像」と題して講演をして頂きました。

当初事前の資料を見せて頂いた時には、その多さに予定の時間内に終わるのか心配しましたが、最新のソフトを駆使されて作られた資料はとても分かり易く、プレゼンの仕方も

日頃の業務に大変参考になるものでした。

講演はまず、我々土地家屋調査士を取り巻く今の状況を「少子高齢化などの社会的背景」、「会員数の減少や年代別構成数」、「世界基準から見た日本の測量のレベル」等色々な側面から説明して頂きました。

世界の取り組みを聞かされた時には哑然としてしまい、我々の仕事は先細りどころか今すぐにでも仕事が0になってしまうんじゃないかと心配になってしまいました。

一昨年に開催された本部研修会において、連合会の児玉先生にして頂いた講義でも同じような衝撃を受けましたが、それから僅か2年の間に我々を取り巻く環境は目まぐるしく進歩しているのだと改めて思い知らされました。

小野先生はこれからの土地家屋調査士の進むべき方向として、まず「認定調査士が1つの武器になりうる」ことを提案されていました。

紛争性のある業務こそ調査士が専門家として積極的に携わっていくべきであるということ。

それも受動的な姿勢ではなく、例えば「公共座標境界復元の励行」など紛争を事前に回避する提案を官公署に対して積極的に行う必要性を提言されていました。

境界紛争に関しては、出来ればあまり拘わりたくないと思っていた私には大変為になる話でした。

次に「ネット社会の発達に伴い調査士もG空間社会に生きる」ことの必要性について説明されました。

「G空間社会」、聞きなれない言葉でした。

早速事務所に帰ってネットで調べてみると「いつでも、どこからでも場所に結びつけられた必要な情報を自由に使える社会」という意味でした。

行政は縦割りの社会なので横の繋がりが乏しい、小野先生は土地家屋調査士こそが空間情報を管理する資格者である！と言っておられました。

つまり、我々調査士も水平型にデータを共有しなければならないと言うことを提言されました。

空間サービス共有の重要性は東日本大震災で多くの方が痛感したところだと思います。

登記情報を1つのレイヤとして終わらせる事なく、この空間サービスの制度、システムの構築に専門家として土地家屋調査士が携わらなければならない。そこに大きなチャンスがある！と言われました。

私が小野先生の講演の中で一番印象に残った言葉が「今は、IT革命の国取物語 地図を制すものは天下を制す！」という言葉です。

多くの業種が空間情報の骨格をなす地図というものにビジネスチャンスを感じているのです。

専門家の我々が手を拱いて見ている事は出来ないと痛感しました。

最後に、小野先生におかれましては繁忙期の最中、我々山口会の為に遠路岐阜よりお越し下さり講演をして頂きました事を感謝致します。

ありがとうございました。



平成25年度第2回本部研修会の報告

境界問題相談センターやまぐち副センター長 大田浩治

平成25年12月19日（木）午後5時からカリエンテ山口において、「境界問題センター及び日常業務における用語の統一、法律論での解説」と題した本年度第2回研修会が開催され、弁護士、調査士合わせて48名が参加しました。

センターやまぐちでは、境界問題で悩みを抱えた人に対する事前相談を県内3カ所の会場で2人態勢で実施していますが、来年度から認定調査士1名が各事務所で対応するように制度変更する準備中です。今回は、8月1日の「境界問題センターやまぐち」研修会でセンター設立の趣旨や理念を再確認したのに続く第2弾として、筆界、境界、境界確認を始めとする用語や、センターの目的・現状を副題に掲げ、認定調査士が事前相談に応じる時、あるいは、会員が日常業務にあたる際の基本事項として、これらの理解を深めるねらいがありました。

講師は、センターやまぐち副センター長の中光弘治弁護士で、講義は、1「はじめに（境界の歴史）」、2「境界確定の諸問題」、3「筆界特定手続」の三部構成。1では明治以前の検地制度や石高による貢租賦課の仕組みの概要に始まり、明治政府の地租改正作業にともない土地の私有が認められ、筆界が創設されるまでの経緯について説明されました。

2では、「境界」に関する用語として「所有権界」と「筆界」の意味についてその成り立ちから話され、これらに「原則的一致」と「例外的不一致」があること、「所有権界」が事実上も法律上も動くことについて判例も引用しながら解説されました。

3では、筆界特定について「筆界特定登記

官の認識を公に表明する行為にとどまる」という法的性質などについて示され、さらに、調査士法第3条第1項第7号の「筆界」や「境界確認書」の「境界」の意味にも言及されました。

次いで、浦井センター長が替わって、センター設立の趣旨に関するセンター規則の条文から「境界」、「当事者の自主的な」、「傾聴」などのキーワードをピックアップし、これらが指すものは何かを会場に問いかけ、十分な理解が必要なことを強調。

次に、1センターの運営の現状と課題では、相談者から架かってきた電話への対応状況を説明した後、他士業法に抵触の疑いある会員に事前相談を紹介することの是非や、今後、認定調査士が各事務所で事前相談を行ううえでの諸課題につき運営委員会で議論があることを述べました。

2今後の方向については、センターと事前相談員との関わりの割合や、事前相談員の紹介方法、相談日時の設定のあり方、相談会場や報酬などについて運営委員会で協議した内容が報告されました。

さらに、「境界確認（協議）書」、「筆界確認書」、「地積測量図」という用語を題材に、法的な意味や裁判での取扱われ方、登記手続の変遷の中でのとらえ方などにつき、質疑応答や自由討論も行われ、業務上の知識を整理し、再確認するきっかけになったのではないかと思います。お忙しいなか、詳細なレジュメを作成し講師を務めてくださった中光弁護士に感謝申し上げます。以上で研修会の報告とします。



支部研修会報告

平成25年度第1回宇部支部研修会の報告

宇部支部理事 松村幸雄

日 時：平成25年11月8日（金）
午後5時30分～午後7時30分
場 所：宇部市野球場 第1会議室
（宇部市恩田町四丁目1番4号）
内 容：ディスカッション形式での質疑応答
世代交代での次世代へ受け継ぐべき
事柄
出席者：会員17名 補助者1名

当支部では、いいものは次世代へ残していこうと参加者全員によるディスカッション形式で行われた。当支部は会員の平均年齢61歳という次の世代が存在するのか危ぶまれる状況にある。その中で数少ないと思われる次世代に対していいものは残していきたいという先輩方のメッセージを次世代が受け継ごうと企画された研修会であった。研修としてはほぼ先輩方の会話で終わったような気がする。

次世代の発言等はあまりなく、結局何を受け継ぐべきなのか次回に繰り越されたのではないだろうか。話題の中心は、公図等以外の山林絵図等の表には出ていない図面の使用方法や無料相談会を当支部として今後現在の頻度で行うべきかどうかというのが主な話題であった。今回のディスカッションの中では解決された事柄がなかったと思われるので、次回も同じ形式で研修会を行うならば、議題を2、3に絞って次世代へ受け継ぐべき事項を明確にしていかなければならないとおもわれた。

以上



平成25年度下関支部第2回支部研修報告書

下関支部企画委員 百合野 崇

平成25年10月23日（水）午後6時から午後7時半まで下関市勤労福祉会館において平成25年度第2回下関支部研修会を開催し、参加者は会員と補助者の方を合わせて計22名でした。

研修内容は、「土地家屋調査士業務における本人確認・意思確認について」をテーマとして、リーガルサポートを通じて成年後見業務に従事した経験豊富な司法書士・土地家屋調査士の日比野浩之会員（下関支部）に講師をお願いしました。

昨今の土地家屋調査士業務の全ての事案において本人確認、意思確認が義務付けられており、同時に代理人として品位保持義務という重い責任を負い、不実登記の出現を防止すべき職責を負う事になりました。また、高齢社会が進む現在、成年後見制度についても知識として知る必要があり、日比野会員は司法書士の観点から、普段の業務での本人確認、

意思確認の方法について詳しくご教授くださいました。

また、成年後見人制度を利用するまでの手続きの流れや所要期間（約2ヶ月）、費用、長谷川式認知症スケールの内容も具体的に説明してくださり、今回の研修テーマに関して事前に会員から寄せられていた質疑につき解説してくださいました。

今回の支部研修で改めて、依頼者の権利保護並びに手続等の適正を図るために、また資格者自身が身を守るためにも本人確認、意思確認の重要性を再認識し、出席者一同は今後の業務にきちんと学んだ事を反映させ生かしていこうと思いを強くしました。

平日の夕方からの僅かな時間の中での研修でしたが、お忙しい中、このような重要なテーマの講師を引き受けてくださった日比野浩之会員に厚くお礼を申し上げます。



全国一斉！法務局休日相談所

岩国会場

平成25年10月6日全国一斉法務局相談会は岩国駅前にあるスーパーフジ6階の特設会場で午前10時から午後4時まで実施された。

相談員は法務局職員、公証人、人権擁護委員、司法書士、土地家屋調査士で設置された各コーナーに法務局職員が内容に応じて各分野に適宜案内して相談を受けました。

当日の相談者数は25人、相談件数26件でテレビを見て来た方が多く表示に関する相談者は僅か1人で土地と建物の相談2件であった。

事前に岩国市役所や法務局へポスターの掲載をお願いし、準備は整えておいたのですが、ポスター受取りが二週間足らずであった事と岩国支所では登記相談を司法書士と土地家屋調査士が共同で月一回、岩国市役所内にて無料相談会を開催していることもあって表示の相談者が少ないのではないかと思った。

周南会場

日時 平成25年10月6日（日）
10：00～16：00
会場 山口地方法務局周南支局
相談員 林 弘
相談者 1名

平成25年度の「全国一斉！法務局休日相談所」は、周南では、山口地方法務局周南支局で開催されました。相談件数は、調査士の関

岩国支部 沖廣哲裕

朝一番に来られた相談者は電話連絡のあった方で既に土地家屋調査士へ調査依頼しており、纏められた資料を持参しての登記相談で登記意思確定の助言に終わった。

昼からは各コーナーで忙しく相談に応じているのを他所目に持参した登記実務書や同席にあるゲームコーナーの賑わいを見ながら延々と待機、なんとなく寂さを感じる一日であった。



周南支部長 林 弘

係は1件だけでした。内容は、分筆登記に関するものでした。司法書士の関係は、約5件程度で、弁護士の関係は、約10件程度あったと思います。周南支部で行った「杭の日」の無料相談会の相談件数も1件でした。調査士会単独の相談会も良いと思いますが、各士業と連携し、いろいろ工夫して相談会を開催する必要があると思いました。

以上、報告します。

山口会場

山口支部 大田謙一郎

山口会場は、10月6日午前10時から午後4時まで、ナック中市コミュニティホールで、弁護士、公証人、司法書士、土地家屋調査士、山口地方法務局職員が夫々担当した。

土地家屋調査士関係は、相談者は3名で、相談内容は下記の通りである。隣接地数筆の合筆及びその未登記公道部分の分筆。未登記私道の分筆。相談者所有地（昭和61年分筆）と法定外水路との境界が不明で、その水路を

挟んだ隣接地所有者とトラブルが絶えないので、所有地とその水路の境界を確認したい。その他、山林絵図の閲覧方法等である。



長門会場

萩支部長 伊藤正典

長門会場の報告をいたします。当日は午前10時開始の午後4時まででした。相談委員として、法務局職員2名、弁護士2名（午前、午後）、公証人1名、司法書士1名、土地家屋調査士1名、人権擁護委員4名（午前、午後）等々です。

相談者は25名、22件という賑わいでした。法務局主催のため広報等大変力が入っており、私たち調査士会が毎年4月に無料相談会をしますがいつも相談者は少数なのですが・・・。

私は午前2件、午後2件を担当しました。



内容として 私有地共有道路の取扱い等もろもろの問題で苦情を含む近隣との感情の行き違い外。午後は2件共境界の問題であり、隣接者として立ち合いをしたが一方向的に復元したポイントが示され納得のいくものではないとのこと。（県内の古い時代の地籍調査済み地区）又、調査士の説明に納得のいくものではなかった等。土地家屋調査士としてももう少し丁寧に説明する必要を感じました。

トラブル処理方法として、筆界特定制度、調査士会のADR境界問題相談センター等の紹介と説明も合わせてお話ししました。



宇部会場

宇部支部副支部長 大窪圭子

日 時 平成25年10月6日(日)
午前10時～午後4時

場 所 宇部会場
山口地方合同庁舎 1階 受付
地下1階 相談会場

相談件数 弁 護 士 5件
司 法 書 士 1件
法務局相談員 1件

弁護士、公証人、司法書士、土地家屋調査士、法務局相談員等が相談員となり、パーテ

ーションで仕切られた各相談室で待機していましたが、残念ながら土地家屋調査士に相談者はなく、長い一日でした。

パーテーションで仕切られているため、相談者のいない方々とのコミュニケーションもとれず、檻の中の熊状態でした。(笑)

弁護士以外は相談者がほとんどなく、広報活動が更に必要なのか、または、無料相談が世に溢れているのかと思われたり。

皆様本当にお疲れさまでした。



下関会場

下関支部理事 山崎義文

日 時 平成25年10月6日（日）
午前10時から午後4時まで
場 所 ヴェルタワー下関駅前
マリンビュー2階
しものせき市民活動センター
相談者数 午前1名・午後1名

上記日時場所にて法務局主催の「全国一斉！法務局休日相談所」が開設されました。相談業種は「弁護士」「司法書士」「公証人」そして「土地家屋調査士」が一つの部屋で業種ごとにパーティションで仕切られた状態での合同の無料相談会でした。

土地家屋調査士への相談者は残念ながら0件で、ほとんどが弁護士への相談者でした。

相談会場が普段の市役所や法務局と比較して、一般市民の方の出入りが多い場所ではないことが相談者数0件の理由になっているのかなと若干ですが、思うところがありました。

全国一斉に行われる相談会ということは東京・大阪のような地価が高い場所では、どのような方が相談に来られて、どのような相談内容であったのか、機会があれば知りたいです。そして、それを次回の相談に生かされればと考えます。また、次回の相談会には相談に来られる方がるように期待したいと思います。

以上、簡単ではありますが法務局休日相談所の参加報告とさせていただきます。



「全国一斉！法務局休日相談所」 相談件数・相談者数一覧

	権利に関する 登記	表示に関する 登記	商業 法人	戸籍	国籍	供託	人権	その他	計 (件数)	相談 者数
山口 会場	23	6	1	0	0	0	8	27	65	56
周南 会場	6	1	3	0	0	0	1	7	18	17
萩 会場	4	4	0	0	0	0	6	8	22	25
岩国 会場	11	2	0	1	0	0	3	9	26	25
下関 会場	3	2	0	0	0	0	2	8	15	11
宇部 会場	0	0	0	0	0	0	1	6	7	11
計	47	15	4	1	0	0	21	65	153	145

山口法律関連士業ネットワーク

「第15回一斉共同相談会」開催報告

広報部長 豊川奎植

平成25年11月4日（月、振替休日）、宇部市文化会館で、山口法律関連士業ネットワークの一斉共同相談会が開催されました。（大会当番会、山口県行政書士会）

調査士会から、西野誠二先生、松永秀治先生、豊川奎植の3名が参加しました。当日は大変、お疲れ様でした。

相談会の結果は以下のとおりです。

1. 相談件数（のべ）

事前予約数	当日	キャンセル	計	前年度合計	前年比
13 枠	11 枠	2 枠	22 枠	46 件	48%

2. 当日の来場者

団体名	相談員	対応回数	相談者の性別	
司法書士会	10	10	男	6
社会保険労務士会	3	2	女	16
税理士会	4	5	計	22
土地家屋調査士会	3	3		
弁理士会	－	－		
不動産鑑定士協会	－	－		
弁護士会	2	8		
行政書士会	6	2		
計	28	30		

↑会場入りした人数（担当時間は区分しない。）

3. アンケート回答者数

22名中、19名（回収率：86%）

4. 相談会を知ったきっかけ（複数回答あり）

チラシ	14
市町広報紙	2
各士業窓口	0
官公庁	0
タウン紙（サンデー宇部）	5
インターネット	2
友人・知人	0
その他	0
計	23

5. 他の機関で相談した回数

ない	13
1回ある	2
数回ある	4
無回答	0
計	19

6. 説明は理解できたか？

大変良く理解できた	13
だいたい理解できた	6
あまり理解できなかった	0
まったく理解できなかった	0
計	19

7. 相談者地域別

宇部市	21	山陽小野田市	0	山口市	0		
周南市	0	その他	1	不明	0	計	22



中国ブロック協議会担当者会同の報告

広報部長 豊川奎植

日時 平成25年10月30日（水）13時から

①基調講演

「センターちばの運営と現状について～認定調査士の利活用」

講師

境界問題相談センターちば
前センター長 高橋一修 先生

②分科会

平成25年10月31日（木）12時まで

①分科会

②全体会（各分科会発表）

場所 岡山市北区駅前町1-3-3

「えきまえミヨシノ」

山口会主席者

西本聡士会長、板垣龍夫副会長、井上哲也副会長、乗川慎二総務部長、益田正規財務部長、清水浩二業務部長、浦井義明センター長、竹下治理事、古江直樹理事、周原稔理事、大田浩治副センター長 豊川奎植（名簿順）

安達和伸（島根会）中国ブロック協議会会長は挨拶の中で、「定例総会での要望を受けて、今回の開催となった。また、認定調査士の活用と、よく言われるが、活用の意味は本来の仕事以外での活用と考える。本来の仕事である弁護士との共同受任や、相談業務を当り前に行っているのがセンターちばである」と話しました。

講演会ではセンターちばの特徴などの説明がありました。センターちばでは、個々の事務所で相談業務を行っています。センター協力員を置いて、認定資格者ではなくても、多くの会員が関わるができるよう制度設計をしています。センターで案件を受付けると、当該地に近い協力員に、資料収集や測量を依頼することもあります。講師は、センターを身近に感じてもらうことが重要であると話しました。

千葉会では、相手方が手紙に不応諾等の場合、センター運営推進委員2名を相手方へ直接、派遣しています。講師はその際、事件の判断やアドバイスは禁止し、一般論的な説明により、ぜひ、センターを利用して一緒に解

決しようと呼びかけて、調停の場に誘うよう指導していると述べました。

センターから紹介された案件は、各事務所で判断し別途、資料収集することもでき、また、筆界特定に移行することも可能で、自分の仕事につながるよう積極的に促しています。

また、たらい回し防止のため（今後、手続途中の移行も可能にしたい）、法務局の筆界特定の窓口「ADRと筆界特定の連携のための相談員」を派遣しています。（法務局の予算）

また、講師は可能なら、調停は最初から同席調停をお願いしているとのこと。利点は手続きの進行が早いためのようです。

紛争に休日はないので、土日、時間外の相談、調停も行っています。利用者が遠方の場合、運営推進委員を派遣した際、現場調停に使えるような地元公民館や自治会館の確認もしています。

講師は、必ずしも調停まで行かなくてもよく、相談だけでもよいとお願いしています。相談を業として捉え（相談料）、他の解決方法の提示も行い、相談はローサービスの提供の場と考えています。センターちばは全国で5番目に法務省の認証を取得しています。

また、二日間にわたり、各単位会より事前に持ち寄ったテーマを各分科会で協議しました。各分科会で話し合った具体的な協議テーマは、全体会で総括しておりますが、内容は省略しますので、ご了承下さい。



各部紹介

総務部

総務部長となり、本会会務の多さに驚いていますが、板垣総務部担当副会長をはじめ、長井理事、内田理事そして事務局が力不足の私を強力にサポートしてくれますので、どうか頑張っています。会員の皆様にはご迷惑をお掛けする事があるかもしれませんが、あたたかく見守って下さい。

(乗川部長より)



左から 長井龍夫理事、乗川慎二部長、西本聡士会長、板垣龍夫副会長、内田博司理事

財務部

会を運営するうえで、財務部は最も重要な部署の一つであると考えます。会員皆様の会費により会は運営されますので、予算執行の合理化を図るとともに無駄のない会の運営に努めたいと思います。また、会館運営についても西本会長を中心に力を入れて取り組み、今後の方向性を見出したいと思います。

(益田部長より)



左から 竹下治理事、戸倉茂雄副会長、西本聡士会長、益田正規部長

業務部

業務部4期目、部長2期目になりますが、相変わらず一番年下の私です。過去の経験を活かして、会員の皆様にとって有益な研修会の開催及び、次期業務部長へスムーズな引継を併せて行いたいと思います。最後の任期のつもりで、他のメンバーと協力して精一杯頑張りますので宜しくお願い致します！

(清水部長より)



左から 白石龍二理事、熊谷剛全理事、清水浩二部長、西本聡士会長、井上哲也副会長、古江直樹理事

社会事業部

様々な課題が山積みではありますが、本年は、特に2年目に入りました山林地番の調査研究を行っている山林地図検討委員会での調査研究に力を入れてゆこうと考えております。資料の調査、収集などにご協力の程宜しくお願い致します。

(井上副会長より)



左から 井上哲也副会長、西本聡士会長、熊谷剛全山林地図検討委員

広報部

当方の力量不足のため、物足りないところはお許し下さい。また、周原先生、三崎先生の会務に対して真摯に取り組む姿勢は、皆へ元気を届けています。今後、社会へ向けた広報部の活動領域が広がろうとする中、残りの任期1年、よろしくお願い致します。

(豊川部長より)



左から 三崎友紀理事、豊川奎植部長、西本聡士会長、板垣龍夫副会長、周原稔理事

境界問題相談センターやまぐち

平成19年のセンター設立から6年経過しました。7年目になる平成26年度から、センターの事前相談を認定調査士の方々に担っていただきます。その時は宜しくお願いします。

(浦井センター長より)



左から 井上哲也副会長、浦井義明センター長、大田浩治副センター長、林弘運営委員 右上 渡辺亜弥ADR顧問、澤田誠運営委員

親睦会報告

山口支部長 本間正幸

去る11月16日(土)、山口支部引受会で、土地家屋調査士会の親睦会を行いました。場所は、長門峡 船方牧場 阿東中谷りんご園りんご狩りで、会員家族合わせて、81名でした。

9時に旧パルル横の市営駐車場に集合して、バス2台に乗り込み、出発、長門峡にて、トイレ休憩となりました。

ビールを飲みたいという意見が有り、急遽近くの酒屋にてビールを買うことになりました。

最初の訪問先、船方牧場に到着後、山口支部長 並びに西本会長挨拶のあと、全員で広場に集まり記念写真を撮りました。

予め、バスのなかで希望者を募っていましたが、バター作り教室には30名の参加者があり、みんな熱中していました。

約1時間楽しんだあと、次のバーベキュー、

りんご狩りへと出発しました。

途中、阿東地区の山口線の踏切が水害により、崩れているのを車中より見ました。

お昼をバーベキューで楽しんだあと、中谷りんご園のりんご狩りを楽しみました。

もいで食べたのですが、美味しい果汁が出て、とても美味しかったです。

最後の場所、長門峡に寄り、散策 紅葉を楽しんで、4時頃、調査士会館に到着しました。

最後閉会の行事を行い解散となりました。

天気がよく、無事終了して、ほっとしました。

益田財務部長ほか支部役員の方々にはいろいろ手伝ってもらい感謝いたします。

次は、再来年 萩支部の順番となります。

以上報告します。



山口青調会の活動

全国青年土地家屋調査士会議in大阪

山口青調会 副会長 宮崎敏幸

一口食べると、懐かしい甘さが舌の上に拡がり、ホッとした途端に辛さの玉が弾ける、、、お客さまから「口ん中が火事や!」と言われながらもご愛顧いただきましたのが、私共のインディアンカレーです。(HPより引用)



通天閣へと乗り込む幹部ら

かつて大阪に住んでいた頃に味わったカレーが懐かしく、一人で食べに行こうとしていた八田さんにムリヤリ同行し大阪までカレーを食べに行きまして参りました(違うか)。

ご存じのとおり、大阪人が「食」と「笑い」に傾ける情熱は大変なものですが、このインディアンカレーも彼らが誇るソウルフードの一つらしいです。詳細は割愛しますが、シンプルな見た目とは裏腹に、一口食べると「ん? 甘い…いや、か、辛い!」そして二口、三口と口に運ぶにつけ、まるで漫才のボケとツッコミのコンビネーションのように「甘い・辛い」の波状攻撃を受けつつ一気に完食してしまう、そんなカレーです。

前置きが長くなってすみません。全国青年土地家屋調査士会議in大阪に参加してきました。山口青調会からは大來さん、和田さん、清水さん、八田さんそして私の5名で参加いたしました。総参加人数はおよそ280名との



へのつっぱりはいらんですよ。

ことで大変熱気溢れる会場のなか、元連合会会長西本孔昭先生の基調講演と、大阪会資料センターの紹介、そしてOpenStreetMap(誰でも自由に参加して、自由に編集でき、自由に利用することができる地理情報データ)の紹介など、興味深い講演の合間にも大会会場をジャックしにテロリストが乱入してくるなどの大阪会有志(?)によるコントが繰り広げられ、非常に大阪らしくエンターテインメント性溢れる大会であったと感じました。

毎回思うことですが、この全国大会のメインは懇親会です。満員の大広間にて、入会し



280名余りの参加者があったとのこと



懇親会場、鈴木修先生 (!) に撮らせた写真

て間もない会員から連合会理事の方まで入り乱れ、名刺を交換しビールを注ぎ合えば、日常業務の話、地元の話、身の上話などなど話題は尽きません。そして各県代表者が前へ出され挨拶するのですが、例年この時点で次年度の開催地が決定されるという慣例になっています。山口で開催せよとの打診もあったようですが、次年度は岡山会が引き受けるということで内心ホッと胸をなで下ろし終了です。なにしろこれだけ大規模の大会を開催するとなると、毎回担当の方々の努力・苦労などは並々ならぬものがあることと思います。同じ中国ブロックということで、来年度は山口会の皆さんもぜひご参加されてみてはいかがでしょうか。

そうそう、会場脇には多数の協賛企業の出展ブースが設けられ、測量機器・ソフト等の



グリコの前でグリコのポーズ

熱心な販促PRも行われておりました。コン杭型携帯ストラップ、三角スケール型シャーペンなどのお土産とともに多量の測量機器カタログもいただきました。明るくサービス精神旺盛な中にも鋭いツッコミと商売心を決して忘れない、そうです、冒頭で紹介したカレーの「甘い！辛い！」の表と裏、二面性こそが大阪という町の懐の深さそのものだったのです。新世界で食べた名物串カツも口に入れた瞬間は懐かしいソースの甘みが際だつのですが、直後にアツアツの具が襲いかかってくる仕掛けになっているわけです。いやあ大阪、なかなか手強い町でした。

と、上手くまとまったところで終わりにしたいのですがそうもいきません。シメはやはりラーメンです。戎橋の客引き達をサラっとかわして道頓堀の超有名店「神座」本店へ。大阪の友人が何度も「めっちゃうまいで」と繰り返していたのを覚えています。私は初体験。野菜の旨味がきいたなんとも優しい味のスープに、一番の特徴である白菜がたっぷり浮かんでいます。ただし、トッピングしたチャーシューがこれでもかと大量に乗せられボリューム感あります。約一名お口に合わなかった方もいらっしゃったようですが、懇親会后のお腹でも完食です。優しいスープとガッツリお肉、これもまた大阪の「表」と「裏」でしょうか。ごちそうさまでした。



太陽の塔の「裏」

「第3回青調会対抗ソフトボール大会」参加報告

山口青調会 会員 古江直樹

雨風が吹き荒れる平成25年11月29日（金）13時より、山口きらら博記念公園多目的ドームにて、連合チーム（兵庫、広島、長崎、鹿児島）・岡山会・山口会の3チームによる表記の大会が開催されました。

第1試合は、岡山会 対 山口会。

清水会員の先頭打者ホームランを皮切りに、序盤から山口会の打線が火を噴き、中盤に岡山会から連打を浴びるものの、終わってみれば（岡山会）4対6（山口会）で山口会が勝利しました。私は5番レフトで出場しましたが、全く良い場面を作る事が出来ず、ほろ苦い青調会デビューとなってしまいました。

第2試合は、連合チーム 対 岡山会。

初参加の為、これまでの対決がどのようなものであったかは分かりませんが、両会が白熱した試合を繰り広げ（連合チーム）7対8（岡山会）で岡山会が接戦をものにしました。ちなみに百合野会員が連合チームの助っ人として投手を務めましたが、連戦の影響からなのか、結果からも見て分かる通りなので、取って試合内容には触れずにおきます。

第3試合は、連合チーム 対 山口会。

序盤は静寂のまま試合が進み、終盤に連合チームの打線が爆発しました。レフトを守っていた私と、センターを守っていた大來会員がマラソンの試合では？というぐらい走られました。

山口会も負けじと打線が爆発！同点で迎えた最終回裏でドラマが起きました。

この時点で山口会の優勝が確定しておりましたが、完全優勝を狙う山口会のバッターは

第1試合に先頭打者ホームランを放った清水会員。山口会の期待を背負う中、意気揚々とバッターボックスに立ちましたが、なんと、キャッチャーへのファールフライに終わりゲームセットとなってしまいました。

試合結果は、（連合チーム）8対8（山口会）で、山口会の優勝（3連覇）です。

山口会の参加メンバーは、井上・和田・益田・山根・大來・古江・清水・山崎・八田・百合野・宮崎の各会員11名でした。

試合後は、下関市に移動し懇親会。懇親会では三崎会員と大森会員が合流し、参加者全員が交流を深め、有意義な1日であったと思います。

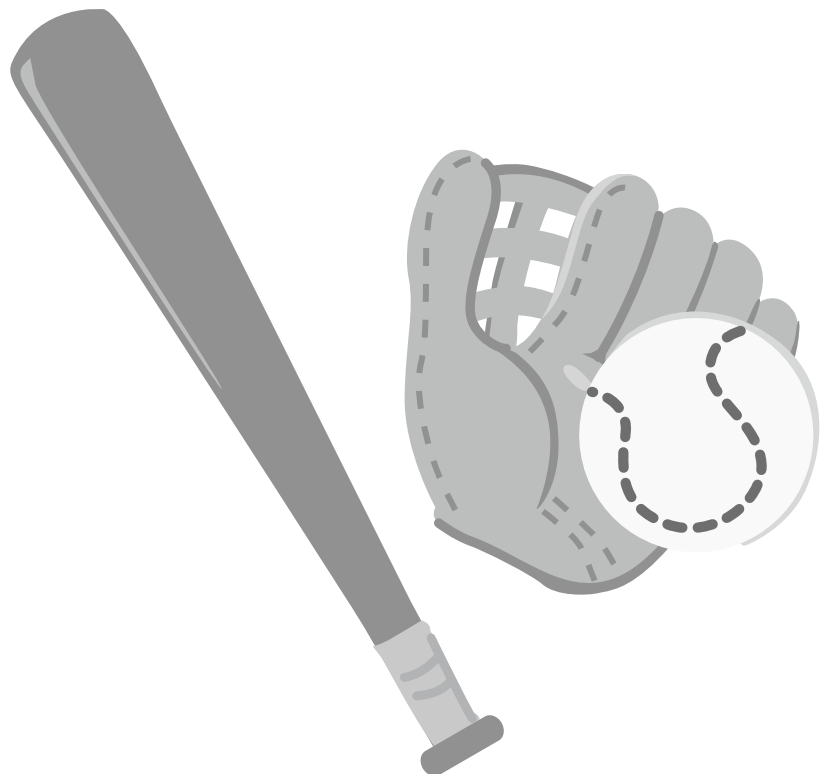
参加された皆様、ソフトボール大会並びに懇親会をお世話した方々、誠にお疲れ様でした。大成功でしたね。



この度、初めて青調会の行事に参加させて頂きましたが、登録して3年目の私は、山口会の中でも、まだまだ面識が無い方もいらっしゃるし、ましてや他会の方々とは、ほぼ面識がありません。こうした状況の中で、青調会の行事は自分を知ってもらえる格好の

場です。参加して良かったと実感しております。参加された事の無い方、是非とも参加してみませんか？

最後になりましたが、山口青調会の方々には温かく迎え入れて頂き、誠に有難うございました。



山口青調会 勉強会、ボウリング大会、忘年会の報告

山口青調会 八田 廣

勉強会

日 時：平成25年12月14日 午後2時から午後4時30分

会 場：生涯学習プラザ 3階 会議室1

参加人数：16名

ボウリング大会

日 時：同日 午後5時から午後6時30分

会 場：下関ロイヤルボウル

参加人数：12名

忘年会

日 時：同日 午後7時から午後9時

会 場：ワイン食堂Narrow

参加人数：12名

上記のとおり下関にて本年度第1回目となる勉強会と毎年恒例のボウリング大会、忘年会が開催されました。

勉強会のテーマは、「ホントにそのやり方で大丈夫なん?」と題し、岩国支部の杉山浩志会員を講師として迎え、ディスカッション形式で行われました。日常業務における受託から業務完了までに起こりうる様々な問題、特に「苦情」につながる恐れのある案件について、各々の事務所での対応をもとにざくばらんに話し合いました。ともすれば見落としがちな事務所表札の掲示方法や名刺の記載項目など事務所の形態の話からはじまり、受託体制、相談業務、事前調査、立会業務等の実務の話となり、会話が熱気を帯びるうち、

気がつけば会場のタイムリミットとなりました。若干の消化不足の感は否めませんでした。が、続きは忘年会々場ということで、急ぎボウリング会場へと向かいました。今回のように小規模開催ならではの参加型勉強会は、ぜひ続編の開催を期待したいところです。

そして今年で4回目となるボウリング大会は、例年どおり2ゲームの合計スコアで競われました。日頃の忙しい業務でのストレスをこの場で発散しようと皆さん奮起されていましたが、中でも前回優勝の山口支部、和田会員の連覇を阻止すべく意気込んでいた第1回優勝の下関支部、S水会員は、途中、古傷の足を痛めてしまい、足を引きずりながらの健闘虚しく2位に甘んじ、和田会員の2連覇を許す結果となりました。来年こそは和田会員の3連覇を阻止する会員が現れることを期待しましょう。

最後は、青調会行事の一年を締めくくる忘年会です。勉強会で消化しきれなかった案件や今後の青調会の運営など、お酒を酌み交わしながらの会話は進むにつれ、勉強会さながらに熱気を帯びていきました。ここでも話し足りない面々は2次会、3次会へと足を運び、さらに下関の師走の夜を満喫されたことと思います。また次の一年、会員各々が会務、業務に励み、再びこのような場集って励まし、語りあえるよう祈念しまして本件の報告とします。



親睦クラブの活動

『小倉競馬場リレーマラソン・下関海峡マラソン』に参加しました!

ランニング同好会 三崎 友紀

『小倉競馬場リレーマラソン』

2013年9月15日(日) JRA小倉競馬場において井上会員・福田会員・清水会員・森下補助者・私の5名にて参加しました。

競馬場の馬場を周回するコースで行われ、芝コースからスタートして、2周目以降はダートコースを26周走る、一見大変優雅なレースです。しかし、実際コースを走るとダートコースは正に砂浜であり、思う様に走れず、体力を消耗して1周でバテバテになります。5人で順番に1周ずつ走りましたが、私と○上会員は泣きを入れて他の方より1周少なくしてもらいました。

また、このレースには大分土地家屋調査士ランナーズも8名で参加されており、抜きつ抜かれつの末、見事山口会が勝利しました! 大会後は居酒屋にて大分会と懇親会を行い、来年の別府にて行われるリレーマラソンにて再戦の約束をして、お開きとなりました。



『下関海峡マラソン』

2013年11月3日(日) 下関市の海峡メッセをスタート・ゴールとするフルマラソンに井上会員・福田会員・富永会員の奥様・清水会員・若月会員・伊藤事務局長・私の7名にて参加しました。

当日の下関は朝から土砂降りの雨で、スタート時には小雨になり、途中は一時止みましたが、結局一日中雨という最悪のコンディションでした。その様な状況にも関わらず、全員無事ゴール!!と報告したかったのですが、私と○○会員はハーフ地点でギブアップしてしまい、強制収容のバスの中で、屈辱の再会をしてしまいました。

見事初マラソンで完走した清○会員には、2014年の下関海峡マラソンを完走するまで、負け犬のレッテルを張られて弄られますが、リベンジしようと心に誓う私でした。見てろよ! ○水会員!!



会員の作るページ

調査士の仕事を知らう「町おこしレース」のアイデア

岩国支部 渋瀬清治

●フトした思いつきです。

我々の仕事の特徴を入れた、町おこしとも関連づけた自動車によるクロスカントリーレースのような企画です。

●準備は、あらかじめ地域の中から、地図や地形そして歴史に関係する質問が準備できる「50地点」の経度緯度を調べます。

そして、毎回、地点を替えるため50地点の中から30地点を選んで候補地一覧表を作成し、5万分の一地形図とともに参加者に渡します。

参加者は、机上でプロットして道順を線で結び、応募の順番に、2分間隔でスタートしてもらいます。

全員が帰ってきたら、得点を集計して、表彰式を行います。

表彰式で出す景品は、地元の企業などからも出品してもらいます。

●我々の業務上の関心事は、不動産登記法などの法令以外では、位置、距離、面積、慣習・歴史などではないでしょうか。

そこで、通常のレースと異なるその特徴を取り入れて、参加者は、

- ① 配布された地図に、各人で位置をプロット
- ② 道順を考えて、出発点に帰ってくるまでを線で結ぶ
- ③ その際、多角形の面積、辺長合計が最小になるようにする
- ④ 訪問地点には、道路上の鉾に番号が書いてあり、番号に応じたその地点の字名、

地形、歴史に関連した質問に答える

- ⑤ 時間以内に帰ることを原則とし、実際の訪問箇所を結んだ面積を求積、辺長合計を計算、訪問箇所数、正解率も成績に計上される

●通常の町おこしレースとの違いは、辺長、面積をも得点に計上するという事です。

そう、ややこしいのですが、通常のドライブレースと違い、少し頭を使わなければいけない点の特徴です。

もちろん、スタッフは、出発・帰着する会場に、パソコンとプリンターを持って行く必要があります。

我々の仕事的一端を知ってもらいたい！という思いも込めた企画です。

こういうのを企画し、実行するのが好きな人が調査士会の中にはいらっしゃるはずだと思ひ、提案させていただきました。

昔の折込みチラシ

萩支部 廣石 勝

萩の「まち」は、山口県の北浦地域の中核都市として、周辺地域と密接なつながりを持って発展してきた。水産業や夏みかん栽培などが、「まち」の経済を支えた。

「まち」には、多くの商店が軒を並べ、活発な商いが営まれていた。

この絵は、昭和28年（1953）前後に萩の「まち」において印刷された折込みチラシである。折込みチラシは、新聞購読が普及するにつれて広まった広告手法であり、多くの商店が折々の売り出し情報をユニークな宣伝文や図柄で、大衆に知らせていた。今、見ていると、昔の暮らしを知る上での参考資料となる。昔、

私の家では新聞を購読していなかったもので、今見ても珍しい物である。




萩周辺の地域では、昔、萩の「まち」へ買い物に行くことを、「まち」に出る、と言っていた。昭和30年代、私が小学の高学年から中学の頃、「まち」に出た感想は、映画館が上映タイトルを手作りの大きな工作物で表し、通りに今にも張り出るような感じで、迫力が有って、通行人に知らせていた事が思い出されるなあ！



事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	ふりがな 氏名 (生年月日)	入会 年月日	事務所	TEL	FAX
	中村 将二 (S54.6.28)	H25.10.1	〒751-0828 下関市幡生町二丁目 9番19号	(083) 255-6533	(083) 255-6533
	義満 一 (S23.3.9)	H25.12.2 (再入会)	〒759-6301 下関市豊浦町大字川棚 1569番地14	(090) 8835-7522	
	重田 正将 (S57.6.29)	H26.1.10	〒743-0061 光市大字小周防1476番地	(0833) 77-3336	(0833) 77-3388

◆新入会員よりひとこと

中村 将二 会員

平成25年10月に入会させていただきました、下関市の中村将二と申します。よろしくお願い致します。

12年前に無敵栄介・無敵良和両先生の下で補助者として2年半勉強させていただいた際に調査士業務を知り、志すようになりました。退職後、アルバイトをしつつ試験勉強に取り組み、平成24年に合格しました。

補助者としての業務経験はありますが長い年月があいてしまった為、原点に立ち戻るとともに調査士であることを常に意識し、業務を行うよう心掛けたいと思います。

諸般の都合により、業務は本年2月より開始したいと考えております。

皆様方のご指導ご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

重田 正将 会員

この度、山口県土地家屋調査士会に入会させていただきました、重田正将と申します。

実務経験に乏しい若輩者でございますので、業務に関しては分からないことばかりですが、1日でも早く一人前の調査士となれるよう、努力を惜しまず、邁進していきたいと思っております。

何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2. 会員退会状況

支部	地区	氏名	退会年月日	備考
山口	山口	山崎 耕右	H25.11.30	退会

3. 会員数

平成26年1月10日現在会員数

会員数 236 法人数 4

4. 事務所変更

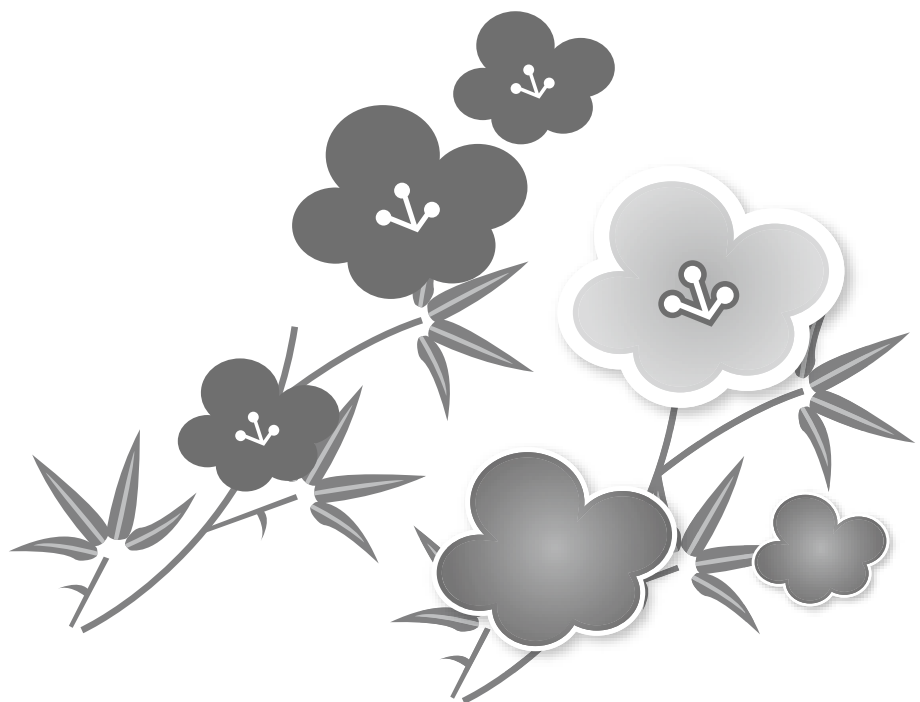
支 部	氏 名	変 更 年月日	変 更 後		
			事務所	TEL	FAX
萩	吉岡 英治	H25.10.16	〒758-0011 萩市大字椿東2906番地の17	(0838) 21-7625	(0838) 21-7625

5. TEL・FAX等変更

支 部	氏 名	変 更 事 項	変 更 後
山 口	澤田 誠	メールアドレス	sawada@sawadajimusho.com

6. 土地家屋調査士法人解散

支 部	法人名称	解散年月日
岩 国	土地家屋調査士法人中島事務所	H25.9.30



会務報告

開催日	会 務	場 所
9月1日(日)	杭の日無料相談会	県 下 3 会 場 (下松・防府・宇部)
9月2日(月)	杭の日無料相談会	県 下 4 会 場 (岩国・柳井・山口・下関)
9月4日(水)	会報編集会議	調 査 士 会 館
9月10日(火)	第8回業務部会	調 査 士 会 館
9月10日(火)	第3回理事会	調 査 士 会 館
9月11日(水)	中国ブロック協議会役員会議	松 江 市
9月13日(金)	第1回山林地図検討委員会	調 査 士 会 館
9月19日(木)	第2回境界問題相談センター運営委員会	山 口 市
	山口法律関連士業ネットワーク第3回理事会	山 口 市
	登録証交付式	調 査 士 会 館
9月27日(金)	土地家屋調査士会と公嘱協会との協議会	調 査 士 会 館
	正副会長会議	調 査 士 会 館
10月2日(水)	臨時職員採用試験	調 査 士 会 館
	会則第109条に基づく調査報告	山 口 地 方 法 務 局
10月6日(日)	「全国一斉！法務局休日相談所」開設	県 下 6 会 場 (山口・周南・長門・岩国・下関・宇部)
10月12・13日(土・日)	自主支部長会	大 島 町
10月16日(水)	全国会長会議	東 京 都
10月18日(金)	法テラス山口地方協議会	山 口 市
	第4回境界問題相談センター運営委員会	調 査 士 会 館
10月25日(金)	公嘱協会第5回理事会	調 査 士 会 館
10月28日(月)	第2回山林地図検討委員会	調 査 士 会 館
10月29日(火)	中間監査	調 査 士 会 館
	第2回財務部会	調 査 士 会 館
10月30・31日(水・木)	中国ブロック担当者会同	岡 山 市
11月4日(月)	山口法律関連士業ネットワーク「一斉共同相談会」	宇 部 市
11月6日(水)	第9回業務部会	調 査 士 会 館
	第2回広報部会	調 査 士 会 館
11月8日(金)	社会保険労務士法制定45周年記念祝賀会	山 口 市
11月12日(火)	第3回山林地図検討委員会	調 査 士 会 館
11月13日(水)	第2回総務部会	調 査 士 会 館
11月16日(土)	親睦会	山 口 市
11月19日(火)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査	山口地方法務局岩国支局柳井出張所、萩支局、下関支局
11月22日(金)	中光弁護士と研修会についての協議	山 口 市
	境界問題相談センター打合せ会	調 査 士 会 館
	第1回本部研修会	山 口 市
11月27日(水)	法務局筆界特定室との協議	山 口 地 方 法 務 局
	第3回常任理事会	調 査 士 会 館
12月11日(水)	法務局との協議	調 査 士 会 館
	第3回総務部会	調 査 士 会 館
12月12日(木)	会報編集会議	調 査 士 会 館
12月13日(金)	公嘱協会第6回理事会	調 査 士 会 館
12月16日(月)	山口法律関連士業ネットワーク第4回理事会	山 口 市
12月19日(木)	第2回本部研修会	山 口 市
	第10回業務部会	調 査 士 会 館
	筆界特定制度と調査士会ADRとの連携についての協議会	調 査 士 会 館
12月24日(火)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査報告	山 口 地 方 法 務 局
	土地家屋調査士試験合格証書交付式	調 査 士 会 館
12月27日(金)	第3回財務部会	調 査 士 会 館
	法務局より年末挨拶	調 査 士 会 館

広報部より

来年度からの事業計画として、『土地家屋調査士の知名度アップ』の為の広報の一環として、業務部との連携による「出前授業」実現のための準備を進めて参ります。

他会での実践資料の入手や視察等まだまだ初案の段階ではありますが、山口会において是非実現したいと思えます。

会員皆様のご協力もお願い致します。

(広報部理事 周原)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

会員皆様方には新たな気持ちで新春をお迎えになったことでしょう。

今年は2月に先陣を切ってソチ冬季オリンピックが開催されますが、きっと日本選手団から朗報がより多く届くよう期待し、我々土地家屋調査士にとっても追い風にしたいものですね。

又、4月には消費税が8%になることが決定されており、経済にとっては逆風も予想されています。

広報部としては、明るい話題を提供できるようがんばって参りますので、会員皆様方からの貴重な情報・体験等の投稿をどんどんお願いします。

広報部として「出前授業」もさることながら、会員一人一人がこつこつ地道に活動していくところが知名度アップの近道だと私は感じております。

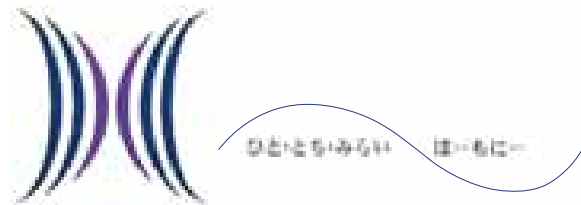
会員皆様にとって、今年が天馬の如く飛躍される年でありますよう広報部一同願っています。

(広報部理事 周原)

発行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電話 (083) 922-5975
FAX (083) 925-8552
ホームページ <http://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net
振替 01590-5-11085

発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 西本 聡士
広報担当副会長 板垣 龍夫
広報部長 豊川 奎植
理 事 周原 稔
〃 三崎 友紀

印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net